

アンケートにご協力ください



分科会ごとにアンケートを実施しています。
左の QR コードからお答えください。



アンケート用紙でもお答えいただけます。
*アンケート用紙は各分科会、および、
大会受付（5F・特別会議室）に置いてあります。

<<< 協賛 >>>

(医) 太融寺町谷口医院
NPO 法人 SEAN
カラフル@はーと
きょうとイロ
ねね助産院
Barbamaaya
れいんぼー神戸
NPO 法人 QWRC
新設 C チーム企画
特定非営利活動法人 チーム紀伊水道
認定 NPO 法人ぷれいす東京
大阪多様性教育ネットワーク (ODEN)
特定非営利活動法人パープル・ハンズ
大阪検査相談・啓発・支援センター chotCAST
浄土真宗 乗蓮寺
AGP
N P O 法人アカー
特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ
津田助産院



2020年 1月 11日(土) 10:30~19:30

会場
ドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

12日(日) 10:00~16:00
受付は両日9:30~

主催：「セクシュアルマイノリティと
医療・福祉・教育を考える全国大会 2020」実行委員会

共催：QWRC／新設 C チーム企画

「セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会 2020」プログラムブック
発行日：2020年1月11日

編集・発行：セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会 2020 実行委員会

大会実行委員会からのご挨拶

「セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会」が2013年、2014年に開催されてから6年のブランクを経て、帰ってまいりました。この催しは、医療・福祉・教育の場面で、それぞれの社会的資源がすべての人に使いやすいものになるはどうすればいいかを考える大会です。

前回の2014年に比べると、現在全国約30自体で同性パートナーシップ制度がはじまるなど、社会に急速な変化が起きています。実際、多くの医療・福祉・教育関係者がこのテーマに取り組んでいますが、そこにはまだまだネットワークが足りないのが現状です。それぞれの貴重な取り組みや成果を共有し、この大会で新たな出会いや交流が生まれることを願っています。

何十年も前から各地でセクシュアルマイノリティについての活動をしている人たちがいます。LGBTQという言葉が普及したり、カミングアウトしやすくなってきたのも、先人たちの地道な努力によるものです。では、10年後はどのような社会になっているのでしょうか。あなたはどんな社会を望みますか。

大会で出会う人々と、あなたが大会に参加する理由や目的、どんな希望を持っているか、積極的に語り合ってください。それが様々な人が暮らしやすい未来を作る着実な一歩となります。

来年もお会いしましょう。

2020年1月11日

セクシュアルマイノリティと
医療・福祉・教育を考える全国大会2020実行委員会

スタッフ紹介

アイ／雨／あやの／池内純／いのもと／織田佳晃／小野／かおり／カズさん／
勝原（あき）／桂木（らぎ）／ケイコ／小池けい子／塩安九十九／しづか／すー／
鈴木宏海／たけ ちよ／チエ／戸梶民夫／どるま／内藤れん／長倉輝明／沼谷のぞみ／
にーな／西千鶴／濱崎はるか／日野／ぴょん／ひろみ／ぽんぽんまる／マコト／
まさお／マッキー／真鼻弘美／マリ／まるやままあや／me／みなみ／みやっち／
ミユキ／武藤安紀／山本美由美／ユカ／リサ／六色かや子

目次

・大会実行委員会からのご挨拶／スタッフ紹介	2
・目次	3
・タイムテーブル／フロアガイド	4
・グランドルール	6
・情報保障にご協力ください。	7
・LGBT基礎用語手話表現	8
・車イスや視覚障害者の方へ／記録のための写真撮影について／大会レポート	13

分科会

A-1 性の多様性の授業実態と新教材～包括的にSOGIを教えるために～	14
A-2 「老人ホームでのLGBTインクルーシブ」の意味と実践@カナダ	15
A-3 コミュニティペーパーを通じたネットワークづくりの実践例	16
A-4 就労に関するワークショップ～就労支援でなに？ LGBTQ	17
B-1 調査から見えるLGBTの教育課題	18
B-2 トランスジェンダーの新しい未来へ！私達ができること	19
B-3 違和・沈黙・模索のライフヒストリー	20
B-4 学生と語る大学のいま	21
C-1 DSDs（体の性の様々な発達／性分化疾患）の正確な理解と支援	22
C-2 ポリアモリーの視点から考える親密な関係の築き方	23
C-3 オーストラリアのLGBTQ難民支援の現場から	24
C-4 みなさんに相談です！～セクシュアルマイノリティ教員の困りごと～	25
D-1 GID診療：専門外来ではない精神科で何が出来るのか	26
D-2 LGBTQと同性介護	27
D-3 住まいを失ったセクシュアルマイノリティを支援する	28
D-4 米サンフランシスコからの報告	29
E-1 同性婚とLGBTの医療・福祉・教育	30
E-2 実践共有：LGBTQの高齢者福祉の現場から	31
E-3 障害×LGBTQ	32
E-4 医療・福祉関係者のLGBTQとアライ集まれ	33
F-1 ろうLGBTQのつながりとサポートづくり	34
F-2 LGBTと家族形成～生殖医療と児童福祉～	35
F-3 トランスジェンダーとセックスワーク	36
F-4 アディクション×LGBTQ	37

パネル発表

パネル発表1：新設Cチーム企画の報告いろいろ	38
パネル発表2：LGBTQも働きやすい職場環境とは	
パネル発表3：大阪市における無作為抽出調査からみたセクシュアル・マイノリティのメンタルヘルス	39
パネル発表4：トランスジェンダーの職場環境、トイレ利用に関する意識と実態	
・交流会	40

1/11(土) 受付 9:30 ~

	4F 大会議室 1 (72人)	4F 大会議室 3 (72人)	4F 中会議室 2 (36人)	4F 中会議室 3 (36人)
10:30 ~ 12:00	A-1 性の多様性の授業実態と新教材～包括的に SOGI を教えるために～ → P14	A-2 「老人ホームでの LGBT インクルーシブ」の意味と実践@カナダ → P15	A-3 コミュニティペーパーを通じたネットワークづくりの実践例 → P16	A-4 就労に関するワークショップ～就労支援でなに？ LGBTQ → P17
13:30 ~ 15:00	B-1 調査から見える LGBT の教育課題 → P18	B-2 トランスジェンダーの新しい未来へ！ 私達ができること → P19	B-3 違和・沈黙・模索のライフヒストリー → P20	B-4 学生と語る大学のいま → P21
15:30 ~ 17:00	C-1 DSDs (体の性の様々な発達／性分化疾患) の正確な理解と支援 → P22	C-2 ポリアモリーの視点から考える親密な関係の築き方 → P23	C-3 オーストリアの LGBTQ 難民支援の現場から → P24	C-4 みなさんに相談です！～セクシュアルマイノリティ教員の困りごと～ → P25

【交流会】 18:00 ~ 19:30 (受付 17:00 ~) 会場：5F 特別会議室
参加費：500円 (詳しくは P40 をご参照ください。)

1/12(日) 受付 9:30 ~

	4F 大会議室 1 (72人)	5F セミナー室 2 (72人)	4F 中会議室 2 (36人)	4F 中会議室 3 (36人)
10:00 ~ 11:30	D-1 GID 診療：専門外来ではない精神科で何が出来るのか → P26	D-2 LGBTQ と同性介護 → P27	D-3 住まいを失ったセクシュアルマイノリティを支援する → P28	D-4 米サンフランシスコからの報告 → P29
12:30 ~ 14:00	E-1 同性婚と L G B T の医療・福祉・教育 → P30	E-2 実践共有：LGBTQ の高齢者福祉の現場から → P31	E-3 障害 × LGBTQ → P32	E-4 医療・福祉関係者の LGBTQ とアライ集まれ → P33
14:30 ~ 16:00	F-1 ろう LGBTQ のつながりとサポートづくり → P34	F-2 LGBT と家族形成～生殖医療と児童福祉～ → P35	F-3 トランスジェンダーとセックスワーク → P36	F-4 アディクション × LGBTQ → P37

【パネル発表】 <詳しくは P38-39 をご覧ください。>

展示時間 1月 11 日 (土) 13:00-20:00

1月 12 日 (日) 10:00-14:00

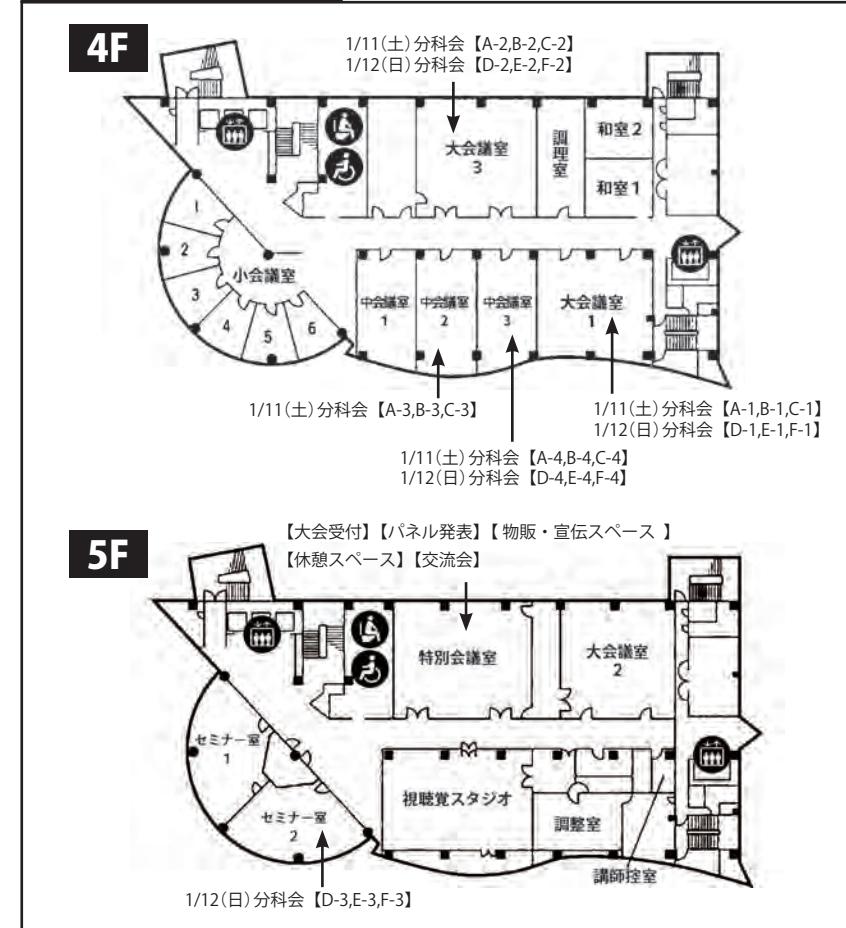
報告内容の要旨を図表とともに規定の大きさの板に掲示し、聞き手との質疑を交えながら 報告者が短時間(5分程度)で報告します。

報告は、1/11(土) 15:00-15:30

1/11(土) 17:00-17:30

1/12(日) 11:30-12:00 のいずれかで行われます。

フロアーマップ



グランドルール

安全な場作りにご協力ください。

1 この社会は セクシュアルマイノリティに対して 公平でも平等でもありません。

だからこそ、この大会では、セクシュアルマイノリティに肯定的なメッセージを送ります。それは、セクシュアルマイノリティにとって過酷な状況を覆い隠すことではなく、現状を明らかにし、改善していくものです。

また、セクシュアルマイノリティについてのみならず、性別、人種、民族、障害、出自、宗教などに基づくあらゆる差別に反対します。参加者の安全を守るため、差別行為やヘイトスピーチ、ハラスメントを発見した場合、退場を求めます。

2 プライバシーの保護に ご協力ください。

さまざまな情報を組み合わせると、名前が出されなくとも、個人を特定できることがあります。

会場は基本的に写真・ビデオの撮影は禁止です。大会側で撮影する場合がありますが記録の為ですので、外部に公開することはありません。

個人を特定できる情報をツイッターやブログなど多くの人の目に触れるところに書かないで下さい。

3 自分と他人の安全に 配慮しましょう。

しんどい時は早めに休憩しましょう。

4 他の人の発言と時間を 尊重しましょう。

自分が正しいと信じて発言する人もいます。賛同できない内容であっても、最後まで聴いてから発言して下さい。批判し合うのではなく、建設的な意見交換の場を心がけて下さい。

ろう者や言語障害のある方は、発言に時間を要することがあります。それぞれのペースがあることを認識し、次の話者は発言が完了していることを確認してください。限られた時間を平等に使えるよう意識しましょう。

5 人の性別を見た目で 判断しないようにしましょう。

彼／彼女といった性別を特定する呼称はなるべく使わず、“さん”だけで呼び合うようにしましょう。名前がわからない場合は、「赤い服の人」など性別以外で人を表してみましょう。

また、この大会では、参加者の性自認に基づいてトイレをご利用いただけます。トイレの表示と異なるように見える性別のの人をトイレ内で見かけたとしても、迷惑行為やハラスメントをしていない限り、何もする必要はありません。

★ 車椅子トイレについて

男女に分かれたトイレが使いにくい方は、車椅子トイレをご利用ください。身体的・医療的なニーズで車椅子トイレしか使いの方々も参加していますので、不用意な長居はご遠慮下さい。

情報保障にご協力ください。

*情報保障…多様な参加者がスムーズに理解できるように情報を提供すること。

大会の「場」全体として、いろいろな立場の人が参加しやすい雰囲気をみんなで作る、という意識を持って頂き、情報保障へのご協力をお願い致します。この大会には、ろうの人々も参加しています。情報保障としては手話通訳・パソコンテイクを行います。それにともない、この大会に参加する全ての方にお知らせです。

▶手話通訳。

「手話通訳」の腕章を着けている人が手話通訳です。受付、各部屋に配置されています。休憩中もお気軽に通訳を利用して下さい。聴者がろう者と会話したい時も、手話通訳をつかまえて通訳を依頼してください。手話が理解できない聴者にとっても手話通訳はなくてはならない存在です。

▶手話表現。

手話の表現について「男」「女」で区別をしない場合は「人」(人差し指をたてる形)や、「相手」(手の甲を相手に向か、指全部を少し内側に曲げる形)という表現に代替させていただきます。

▶ホワイトボード。

コミュニケーションの補助にご自由にご利用ください。

分科会で発言する時のお願い

部屋全員に聞こえる 声で、急がずに話す。

発言者の声が小さくて、手話通訳者が聞き取れないと、手話ができません。特別ゆっくり話す必要はありませんが、早口すぎると手話通訳が追いつかないことがあります。大きな部屋ではマイクを使うようにしましょう。

発言が終わったらすぐ に話し出さないで、少 し間を置いて発言する。

手話通訳はタイムラグが発生することがあります。なるべく通訳者が内容を省略しなくてすむように、会話と会話の間に余裕をもたせましょう。

「え？ もう一回 言ってもらえます？」 「ちょっと待って もらえます？」

早口な場合、声が小さい場合、手話通訳やパソコンテイカーが発言を確認することができます。また、通訳が会話に追いついていない場合、少し待ってもらうことがあります。ご了承ください。

誰の発言か わかるようにする。

例えば、発言したい人は手を挙げる、前に出るなど、ろう者にどの人が発言しているかわかるようにして下さい。通訳者は普段「司会がこう言っています」「あの白い服の人がこう言っています」など、誰の発言かをまず伝えてから、発言内容を通訳していますので、それを助けましょう。

一人ずつ話す。

聞こえている多くの人にとつては、声の違いや違う方向からの発言などで、一度に複数の話を聞き分けられる事ができますが、通訳者を介すとそれができなくなります。発言したい人は手をあげるなど、なるべく同時に話さないようにしましょう。

専門用語は はっきりと。

専門用語や固有名詞は聞き取りにくい為、出来るだけはっきりと話してください。

LGBTQ 基本用語 手話表現

【参照】

ろうLGBTQサポートブック
(Deaf-LGBTQ-Center発行)
<https://deaf-lgbt-center.jimdo.com/>



レインボー



6色の虹はLGBTQの尊厳と社会運動のシンボル。

LGBTQ(エルジービーティーキュー)



レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィアの頭文字。

セクシュアリティ



身体の性別、女／男らしさ、恋愛対象などを含めた性全般のあり方のこと。

セクシュアルマイノリティ



性的少数者。LGBTQの同義で使われる。略して「セクマイ」。

SOGI(ソジ)



Sexual Orientation (性的指向) & Gender Identity (性自認) の頭文字を並べたもの。

クィア



LGBTQ の総称。かつては「変態」という蔑称でしたが当事者により肯定的な意味で使われるよう。

性的指向



誰を好きになるか。
どの性別の人を恋愛対象にするか。

レズビアン



ゲイ



バイセクシャル



異性愛者



パンセクシュアル



LGBTQも含めて全ての性のカテゴリーを恋愛対象とする人。

Aセクシュアル



「アセクシュアル」もしくは「エイセクシュアル」。人を好きにならない人。恋愛に興味が無かったり、恋愛はするがセックスをしたいと思わなかったり、様々なパターンがあります。



自分の性別をどう自覚しているか。



身体の性別とは異なる性別を生きる／生きたいと望む人。手術をする人もいれば、しない人もいます。



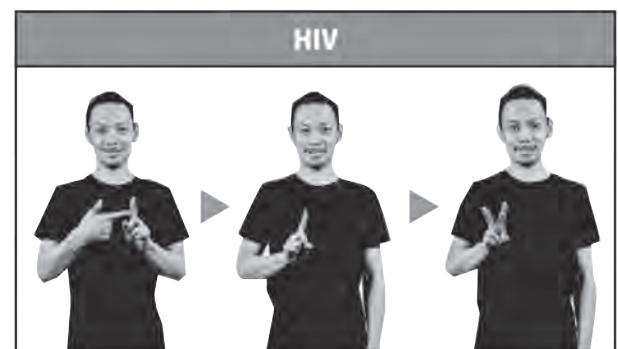
DSDs／性分化疾患
体の性の様々な発達のこと。



女性から男性。



男性から女性。



トランスジェンダーの反意語。生まれた時に振り分けられた身体的な性別と性自認が一致している人。



性別に囚われずに生きたい人。中性、無性、両性など人によって表現は様々で流動的な性だったりします。



生まれた性別に対する不快感、違和感など。



一対一で付き合うこと。特定の一人の人との付き合いを望む人。



恋人を一人に限定せず、複数持つこと。一対一での恋愛に縛られない人。





カミングアウト



クローゼット

自分のセクシュアリティを秘密にしておくこと。



アウティング



アライ



フォビア

他人の秘密を本人の許可なしに暴露すること。

問題の当事者ではないが積極的に支援し、協力的な人のこと。LGBTQ 問題の場合、協力的なシジエンダーの異性愛のこと。

嫌悪・偏見・拒絶反応のこと。用例：ホモフォビア・トランスフォビア



おかま

ニューハーフ

ホモ

車イスや視覚障害の方へ



■車イスのスペース

車イスの方で、発表が見えないなど不都合な場所しか空いていない場合はお知らせください。できるだけスタッフが対応いたします。また、机が必要な場合もお知らせください。



■拡大資料

視覚障害の方には、拡大資料をお渡しできる場合があります。
①事前にご希望の方は、お申し込みの際にお伝え下されば、大会事務局にて用意できる範囲でお渡し致します。

②分科会終了後にご希望の方は、お手数ですが講演者にお伝え願います。尚、内容によってはご用意できない場合もありますのでご了承願います。

記録のための写真撮影について



●大会では記録の為に分科会等で写真撮影を行います。

●写真に写るのは登壇者だけで、参加者は写りません。

●参加者各位が映写された画面等を撮影されたい場合は、各分会の主催者に了解を取ってから撮影してください。

大会レポート



大会のホームページに
「大会レポート」を掲載する予定です。
(2020年3月上旬掲載予定。)



<https://queertaikai2020.wixsite.com/toppage>

A-1

日時 2020年1月11日(土)
10:30～12:00



タイトル	性の多様性の授業実態と新教材～包括的に SOGI を教えるために～
主催	新設 C チーム企画
出演者	性教育教材制作教員チーム
企画内容	

LGBT という言葉が一般化し、メディアでもよく見かけるようになった昨今。子どもたちは Youtube で簡単に様々な知識にアクセスできるようになっている中で、子どもたちが暮らしの中で出会う事象、私たち大人の知識や認識、旧来の内容のままの学校教育、それぞれにギャップが生まれているのではないかと思う。実際に、性の多様について授業を取り上げている学校的割合は実際どれくらいなのか、大阪や福岡での調査を元にした報告から現状を考察します。

新設 C チーム企画では、2010 年には DVD 「高校生向け人権講座：もしも友だちが LGBGT だったら？」、2011 年には小学生向け DVD 「いろんな性別～ LGBT に聞いてみよう～」を制作し、9 年間で 1 万枚を配布し実績を積んできました。今回は低学年（小学 1、2 年生）向けを中心に使いやすい教材の開発に取り組んでいます。既にできあがった試作品で授業を実践した報告とともに、どのように教材を使って授業をするのか、模擬授業を行って紹介します。ジェンダー平等教育から一歩進んだ SOGI の観点からのより包括的で実用的な教材を目指し、教員が気軽にしかし自信を持って授業を行えるよう支援していきたいと思っています。

主催者からのメッセージ

教員の皆様をはじめ、早期性教育に興味のある方々のご参加をお待ちしております。自分の所ではこういう教材を使っている、こういう指導で成功しているなど、知恵と経験のシェアも歓迎です。

**A-2**

日時 2020年1月11日(土)
10:30～12:00



タイトル	カナダ・トロントの市立特養でのボランティア経験から見える「老人ホームでの LGBT インクルーシブ」の意味と実践
主催	新設 C チーム企画
出演者	山田公二
企画内容	

ゲイとしてカナダ人のパートナーと結婚し、カナダに移住して 12 年の山田公二さんに、LGBTQ が暮らしやすいと言われるカナダでの高齢者施設の状況を報告して頂きます。日本ではまだまだ LGBTQ 高齢者の存在が顕在化していませんが、今後対応が必ず必要になります。また、山田さんが出会ったひとりひとりのお年寄りがどんな人生を歩んできたのかを知ることは、私たちの将来を垣間見ることでもあります。60 分の講演の後、現地にスカイプを繋いで 30 分の質疑応答となります。

講演内容

カナダという国はどんな国か（人権尊重の国への道のり）／カナダという国での LGBT を取り巻く状況（歴史を振り返って）／国勢調査に見るカナダの LGB(T) 実況／トロントという街について／トロントの市立特養の位置付け／ファジャー・ハウス (Fudger House) の紹介／ファジャー・ハウスで出会った居住者の人たち／ファジャー・ハウスでのボランティア活動／ファジャー・ハウスでボランティアをして見えてきたこと

主催者からのメッセージ

高齢者福祉関係者以外にも、人権教育、多文化共生、外国人支援などの関係者にも是非聴いてもらいたいお話を。言語、文化的背景、宗教、習慣などが異なる人々が共に暮らすにはどのような社会基盤が必要なのか、また、それが最後まで自分らしく暮らすために、私たちがどう個人に向き合えばいいのか、ヒントを得られます。

A-3

日時 2020年1月11日(土)
10:30～12:00

タイトル コミュニティペーパーを通じたネットワークづくりの実践例

主催 MASH 大阪

出演者 鬼塚哲郎、後藤大輔、伴仲昭彦

企画内容

私たちは過去八年間、中高年ゲイのライフスタイルにまつわるコミュニティペーパーを発行してきました。その中でHIV医療・介護、性に関わる企業、終活などの領域で活動するキーパーソンとネットワークを築いてきたので、その実践例を紹介します。

4F
中会議室2
(36人)

**主催者からのメッセージ**

会場のみなさんとの対話を通じて、
ライフスタイルを考えるために必要な
ネットワークとは何かをあらためて考える
機会になれば幸いです。

**A-4**

日時 2020年1月11日(土)
10:30～12:00

タイトル 就労に関するワークショップ～就労支援でなに？ LGBTQ

主催 セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える
全国大会2020実行委員会

出演者 OSAKA しごとフィールド 千田啓太、社会福祉法人すいせい

企画内容

LGBTと仕事のテーマが注目され、企業での取り組み、LGBTの就活が話題になっています。一方、メンタルヘルスに課題がある人々が働きやすいようにサポートしていく方法が広まっています。それはどんなものなのでしょうか。また、セクシュアリティと仕事の支援とはどう関連しているのでしょうか。行政の立場で支援しているOSAKA しごとフィールドの千田さん、社会福祉法人すいせいさんから話題提供していただきます。

後半はグループワークです。就労支援は、実際どのように行われているのか、分科会でみなさんと話したいと思います。

主催者からのメッセージ

障がい者の就労支援から学び、環境調整によって、画一的ではない、一人一人が働きやすい職場づくりを考えるきっかけにしたいです。

大会企画協力者：武藤安紀



B-1

日時 2020年1月11日(土)
13:30～15:00

タイトル 調査から見える LGBT の教育課題

主催 セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える
全国大会 2020 実行委員会

出演者 日高庸晴

企画内容

日高教授が三重県男女共同参画センターと共に2017年の調査は、三重県の高校生1万人を対象にしたセクシュアリティに関するもので、その調査結果が教育現場で注目されています。
1万人の内、LGBT をはじめとするセクシュアルマイノリティの割合は 1,003 人 (10.0%)。当事者の約 60%がいじめ被害の経験を持っていたり、自傷行為の経験は、非当事者の 12%に比べ、当事者は 31%と 2 倍以上にのぼっており、今だ学校生活の厳しさが浮き彫りになった。また、当事者の 5 人に 1 人が LGBT という言葉を知らないなど、教育現場での知識・情報の提供が求められる結果となっています。
また、3 年前の成人の当事者 15,000 人への調査の結果も紹介し、これまで公開されたデータや非公開のデータも交えて、今日の教育現場における課題についてご講演いただきます。

【講師プロフィール】日高 庸晴

現職：宝塚大学看護学部 教授、日本思春期学会 理事

略歴：京都大学大学院医学研究科で博士号（社会健康医学）取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントなどを経て現職。

法務省企画の人権啓発ビデオの監修や、文部科学省が 2016 年 4 月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、性的指向や性自認の多様性に関する文部科学省幹部職員研修、法務省国家公務員人権研修、人事院ハラスメント研修などの講師を務める。

主催者からのメッセージ

教育関係者の皆さん、性の多様性の授業に取り組みたいけれど学校が動いてくれないという教職員の皆さん、数字に基づいた説得力のある調査結果を持ち帰って役立てていただければと思います。

**B-2**

日時 2020年1月11日(土)
13:30～15:00

タイトル トランスジェンダーの新しい未来へ！私達ができること

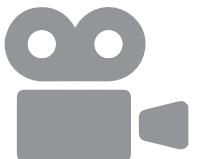
主催 LGBT の家族と友人をつなぐ会 名古屋

出演者 浦狩知子、江崎夢、江崎光、木平夏帆

企画内容

三重県高田高校放送部によって制作された FTM トランスジェンダーとその母についてのドキュメンタリーを上映（全国高校放送大会 NHK 杯 4 位）。被写体となったトランスジェンダーの母親が経験した、トランスジェンダーとその家族が直面する困難について語ります。教育機関や行政における、目に見える支援とはなにか。

また、このドキュメンタリーの制作をきっかけに設立された、トランスジェンダーへの理解啓発に関わる NPO 団体の代表である放送部卒業生と、現役放送部メンバーより、現在進行しているトランスジェンダーへの理解啓発に関する活動について発表予定。

**主催者からのメッセージ**

皆さまの参加をお待ちしております。



B-3

日時 2020年1月11日(土)
13:30～15:00

タイトル 違和・沈黙・模索のライフヒストリー

主催 日本女性学研究会「シニアのための SOGI トークサロン」分科会
スターティングメンバー

出演者 桂容子、まめたん、沼谷のぞみ

企画内容

メンバー 60代3人の来し方を、ジェンダー／セクシュアリティをめぐって変化してきた社会的な出来事とからませながらお話したいと思います。1960年代後半から70年代の問題意識は、「女には男とは違う役割がある」と言われ、「女と男は何が違うのか?」を問うところから始まりました。第二波フェミニズムは、「ジェンダー」という概念を獲得し、「生得的な女性の特性」といった思い込みを排除し、男性に従属する女性像から脱して女性たちの連帯（シスターフッド）を目指そうとする運動でした。キャリアを追求するといった社会的な地位の問題だけでなく、男性との個人的な親密さにも社会の階層関係が持ち込まれていることを喝破し、「個人的なことは政治的なこと」というスローガンを共有したのでした。まさに、メンバーは、「皆婚社会」と呼ばれた高度経済成長期の流れの中で選択の余地なく婚姻や出産を経験し、セクシュアリティにおいても葛藤をかかえてきました。それぞれが家族事情をかかえ仕事の事情をかかえ、今あらためて「自分らしく」生きられたのかと問うと、簡単に首肯できないもやもや感を抱いています。そこには今に通じる様々な未解決の課題がたくさんあります。フェミニズムのいう「女性」とは誰のことか？　GBTQはマイノリティか？ 等々。

主催者からのメッセージ

ルサンチマン・フェミニズムと言われた私たちの時代の思想は、今も世代を超えて、多くの人たちとつながる課題をたくさん含んでいます。嘗ては、「女」たちは孤独でしたが今は、思いを共有する場所ができています。「普通」の「女」の人生の、違和感・沈黙・模索の記憶、これから展望を共有していただけたら幸いです。参加者のみなさんとも気軽なトークを展開できたらうれしく思います。

**B-4**

日時 2020年1月11日(土)
13:30～15:00

タイトル 学生と語る大学のいま

主催 SOGI を考える学生トリオ

出演者 ぜん（カラ＊スタ）、織田佳亮（関西学院大学）、
OUYANG Shanshan（立命館大学）

企画内容

3人の学生の体験を基にそれぞれのグループに分かれてワークショップを行い、最後にパネルトークで感想を共有するプログラムです。・織田佳亮「大学とオープン／クローズ」一人のトランス当事者として、クローズなサークルに所属しつつ、大学主催のオープンな活動に関わる中で経験したこと題材としながら、みなさんと一緒にお話しできたらと思います。大学に携わる学生や教職員、トランスに関心がある人など、どなたでもお気軽に参加ください。・OUYANG Shanshan「研究という居場所」なぜ SOGI を研究することが重要なのか、周りでどんな研究がされているのか、留学生である院生の視点で紹介します。ある問題意識を持って、細かく深く勉強していく、なんらかの形で他者と社会と繋がっていきたいです。私にとって、研究は居場所です。みんなと「居場所」の話をできたらと思います。・ぜん「大学 LGBT サークルはいま」大学の規模にかかわらず LGBT サークルが多く立ち上がる今、その実態は昔とどう変わったのでしょうか？ サークル活動で体験したことを通じて、みなさんのギモンを対話形式で一緒に考えていきます。「サークルを立ち上げたい」人や「上手く活動できない…」相談も大歓迎です！

**主催者からのメッセージ**

「近年 LGBT ブームと呼ばれる流れがあるが、果たして学生は生きやすくなっているのだろうか？」そのような問題意識から「大学サークル合同で発表してほしい！」と言われ集まった私たち。ですが、3人とも SOGI も違えば、生きかたもバラバラです。そこで、そんな私たちの多様性をそのままテーマにしてみました。みなさまと一緒にそれぞれの「いま」について語り合うことができたら幸いです！

C-1

日時 2020年1月11日(土)
15:30～17:00

タイトル DSDs（体の性の様々な発達／性分化疾患）の正確な理解と支援
主催 ネクス DSD ジャパン
出演者 ヨヘイル（臨床心理士／公認心理師）

企画内容

性分化疾患（現在は DSDs：体の性の様々な発達：Differences of sex development と呼ばれることが多い）はここ 15 年の間に医学的な知識も大きく進歩し、オランダやベルギーなどの人権先進国の国家機関が、イメージではない現実の DSDs 当事者の実像の調査報告書が発行されています。

そこで実は明らかになってきたのは、DSDs を持つ人々は男性・女性以外の別のカテゴリーと見なされたいとも望んでおらず、むしろただの男性・女性として見てもらうことを望んでおり、男女の二分法を打ち崩したいという希望を全く持っていないということだったのです。

ですが現在でも社会一般では性分化疾患（DSDs）に対する誤解や偏見が大きい状況です。それはたとえば、20 年前 LGBTQ 等性的マイノリティの皆さんへの偏見・誤解を一般社会の人々が持っていたのと同じく、LGBTQ の皆さんも含めた社会一般の人々が DSDs に対して誤解や偏見を現在も持っている状況と同じと言えるでしょう。

ではなぜ「DSDs = 男でも女でもない性別」という誤解や偏見が生まれてしまうのか？ 「女性ならばこういう体の状態のはず・男性ならばこういう体の状態のはず」という「社会的生物学固定観念」を手がかりにして、DSDs にはどういう体の状態があるのか？、当事者家族の現実の困難、LGBTQ 等性的マイノリティの皆さんとの関係、医療福祉や教育に携わる人々ができることは何なのか？ できるだけわかりやすくご説明いたします。

主催者からのメッセージ

ネクス DSD ジャパンのヨヘイルと申します。20 年ほど前から海外の各種 DSDs サポートグループや人権支援団体と連携して、DSDs の正確で支持的な情報を発信しています。現在は日本でも各種 DSDs の患者家族会が組織され、患者家族会の連絡会も行っています。医療福祉や教育に携わるみなさんだけでなく、LGBTQ 等性的マイノリティの皆さんご自身にもぜひお聞きいただきたいと思っています。LGBTQ の皆さんと DSDs を持つ人々とのより良い関係と一緒に考えていくべきです！

**C-2**

日時 2020年1月11日(土)
15:30～17:00

タイトル ポリアモリーの視点から考える親密な関係の築き方
主催 ポリーラウンジ
出演者 きのこ、安岐あきこ

企画内容

複数の人と、全員の合意のもとでオープンにお付き合いをするというライフスタイルをポリアモリー（複数愛）といいます。「浮気とどう違うの？」、「嫉妬はしないの？」といった素朴な疑問から、常識にとらわれずに自分らしい関係性を築くコツまで、2018 年に「わたし、恋人が 2 人います。複数愛（ポリアモリー）という生き方」を上梓したきのこさんにきくトークショーです。

**主催者からのメッセージ**

ポリアモリーという言葉を初めて聞いた方にも楽しんでいただける気楽なトークショーにしたいと思っています。参加の方からの質問タイムもたっぷり設ける予定です。お気軽にご参加下さい。

C-3

日時 2020年1月11日(土)
15:30～17:00

タイトル オーストリアのLGBTQ難民支援の現場から

主催 新設Cチーム企画

出演者 山城Jay

企画内容

オーストリアのウィーンでLGBTQ難民支援を行っている山城さんに、LGBTQ難民支援の詳細をお話いただきます。地域によって異なる背景を持つ人々への多言語での支援、名譽殺人や人身売買などの過酷な状況から逃れて来たがゆえの重いトラウマ、異文化で孤立しがちなLGBTQ難民特有の困難など、どのようなセラピーを行っているのか紹介して頂きます。60分の講演の後、現地にスカイプを繋いで30分の質疑応答となります。

講演では下記の質問に答えていただく形でお話を伺います。

- ・LGBTQ難民はどこからやってくるのですか。また、地域によって特徴がありますか。
- ・なぜLGBTQ難民にカウンセリングが必要なのですか。
- ・カウンセリングの場所や、状況など、どのように配慮していますか。
- ・チームでセラピーをするのはなぜですか。
- ・拷問など重度のトラウマに対してどのようなアプローチをしていますか。
- ・LGBTQ難民の話を聞く際に気を付けていることは何ですか。
- ・病院、大学、カウンセリング専門学校などの連携の必要性を教えてください。
- ・ダブリン条約や他国の支援団体などの連携の様子を教えてください。
- ・日本でLGBTQ難民の支援をするかもしれない人にアドバイスをお願いいたします。

主催者からのメッセージ

今後日本の国際化が進むことが予想されます。様々な立場、背景の外国人そしてLGBTQの人々に出会う機会も増えていくことが予想されます。そうした支援の場に役立つお話を。特にサバイバーや自殺経験者などへのセラピー従事者、心理職、外国人支援者には是非聴いて頂きたいです。

**C-4**

日時 2020年1月11日(土)
15:30～17:00

タイトル みなさんに相談です！～セクシュアルマイノリティ教員の困りごと～

主催 新設Cチーム企画

出演者 小池、小西、藤村

企画内容

先生の中にもセクシュアルマイノリティはいる！でも、職場ではなかなか声をあげられません。なぜだと思いますか？私たちが日頃不安に思っていることを聞いてください。そして、その困りごとを解決するために、みなさんの知恵をかしてください。

グランドルール

- ・言いたければ言う、言いたくなければ言わない。
- ・無理に聞き出そうとしない。
- ・相手を否定しない。
- ・ここで知ったことは、外では言わない。

セクシュアルマイノリティ教員やアライ、教師を目指す学生、学校に興味がある方のご参加をお待ちしています。

主催者からのメッセージ

ワークを通して私たちの困りごとを解決してください！明日できることから、時間をかけて取り組むことまで様々な意見を聞けたら、私たちの力になります。



D-1

日時 2020年1月12日(日)
10:00 ~ 11:30

タイトル GID 診療：専門外来ではない精神科で何が出来るのか

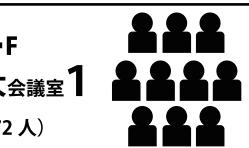
主催 セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える
全国大会2020 実行委員会

出演者 織田裕行（関西医科大学総合医療センター精神神経科）
池下克実（いちメンタルクリニック日本橋）

企画内容

精神科の役割は何か？
専門外来受診者の目的と専門外来の役割はあっていいのか。
性別違和に対する診察は専門外来でしかできないのか？
それぞれの役割を整理します。

最後にフロアからの質問にお答えする時間も設けます。

**D-2**

日時 2020年1月12日(土)
10:00 ~ 11:30

タイトル LGBTQ と同性介護

主催 はるか

出演者 はるか、植木智、佐藤、けい

企画内容

「介助者」は入浴や排泄の支援場面において、「障害児・者や難病患者（以下、障害者）」の裸や性器を直接目にしています。「介助者」は性に関する非常に多くの情報を得ることができます。それは同時に、「障害者」が性に関する非常に多くの情報を見られたり、知られたりすることも意味します。

同性介護は、「障害者の性を尊重する」目的があるとされています。また、「介助者／利用者による性的虐待やセクハラを予防する」目的があるともされています。

しかし同性介護は、異性愛でありシジンダーであるという価値観に基づいて構築されているため、LGBTQ の介助者／利用者に対する想定がほとんどありません。

LGBTQ が同性介護に対し、どう解釈・整理しているか、どのような葛藤を抱えているかはこれまで明らかにされてきませんでした。

そこでこの分科会では、出演者のトークショーと、参加者も交えたワークショップにて以下をテーマに話し合います。

- 1) LGBTQ の介助者は、同性介護についてどう考えている？
- 2) LGBTQ の障害者は、同性介護についてどう考えている？

+

- 3) LGBTQ でない介助者／利用者は同性介護における LGBTQ の関わりをどう考えている？

**主催者からのメッセージ**

医師やコメディカルはもちろん、色々な立場の皆さんと一緒に、専門外来や精神科の役割について改めて考えてみたいと思っています。専門外来の Dr. と、専門外来ではない精神科 Dr. にそれぞれ日頃の思いを含めてお話ししていただきます。珍しい機会かと思いますので、皆さま是非ご参加ください！

**主催者からのメッセージ**

同性介護。同性って誰？カミングアウトしたときどうなる？
「同性」ってホントに「安心」？
私らしい生活しても引かない？
言わないと変わらない、変わらないと言えない、というジレンマ
みんなの多様「性」を尊重する介護について考えよう。

D-3

日時 2020年1月12日(日)
10:00～11:30

タイトル 住まいを失ったセクシュアルマイノリティを支援する

主催 性的マイノリティ医療・福祉連絡会関西

出演者 前田邦博さん(LGBTハウジングファースト・東京)
梅田政宏さん(株式会社にじいろ家族 代表取締役)

企画内容

住まいを失い「ホームレス状態」になった、あるいは現在なっているというLGBT当事者の方が少なくないということがわかっています。その問題を解決するため、ハウジングファーストという考え方のもと、東京で住む家を確保する支援を行っている前田さんからお話しいただきます。

また、大阪ではどのような状況なのか、大阪市西成区で高齢者のケアマネジャーをしている梅田さんからお話をいただきます。西成にはさまざま状況からそこへやってくる人々がいます。西成という包括的な地域生活でセクシュアルマイノリティの人がどのように生きているのか。東京と大阪の事情の違いを比べながら、それ以外の各地域でもセクシュアルマイノリティが生きていくための住まいの確保、そしてネットワークを見出すための分科会です。

主催者からのメッセージ

住まいが安定していない、家を出ないといけないとき、知り合いがすでに住まいがないとき、自分や周りはどうしたらよいのか知る機会をもてたらと思います。また、一時保護施設職員の方や自治体職員の人にもLGBTの状況を知っていただきたいと思っています。

**D-4**

日時 2020年1月12日(日)
10:00～11:30

タイトル 米サンフランシスコからの報告
—LGBTQ+コミュニティでの研究・ボランティアから見えたこと

主催 登壇者本人

出演者 朝日新聞大阪社会部記者 花房吾早子(はなぶさあさこ)

企画内容

「世界一クイアな都市」として知られる米サンフランシスコ。近年、テクノロジーと高級住宅化の波に飲まれ、刻々と街並みが変化するなか、市役所、教育機関、非営利団体がどのようにクイア・コミュニティの歴史を保存し、語り継いでいくかと試みているか、紹介する。「ゲイ・キャピタル」と言われるカストロ地区は、1930年代から第二次大戦後、カソリック系アイルランド人で労働者階級の人々が住む地域として知られた。リベラルな文化が花開いた60～70年代になり、ゲイやレズビアンらが住み始めたことでクイア・コミュニティとして確立し、カリフォルニア州初のゲイ市会議員ハーベイ・ミルクを生んだ。そのほか、トランジエンダーの有色人種女性が警察の暴力に立ち上がった歴史があるテンダーロイン地区、レザーやBDSMを楽しむ場が集まるサウス・オブ・マーケット地区は、市から文化地区の指定を受けた。こうした地域の歴史を守る取り組みの他、歴史に名を残したLGBTQ+の発掘、小中高生へのLGBTQ歴史教育、若者による歴史を伝えるウォーキングツアーなども行われている。現地で体験した例をいくつか取り上げたい。

主催者からのメッセージ

昨年8月まで2年間留学し、大学・大学院で学んだほか、毎日のように地域のクイア・イベントに参加し、ボランティアをしました。白人ゲイ男性に彩られた歴史の陰で、語られてこなかった有色人種のクイア・コミュニティの葛藤を肌で感じました。歴史の発掘、保存、継承を通して「私たちはいつの時代もいた」というメッセージを届けようとする人たちの姿を皆さんと共有できたらと思います。



2019年年8月中旬
カストロで行われた反人種差別デモ

E-1

日時 2020年1月12日(日)
12:30～14:00

タイトル 同性婚とLGBTの医療・福祉・教育
～親密な関係の法的保障をめぐって～

主催 「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟弁護団

出演者 同上

企画内容

日本には、同性どうしのカップルがたくさん暮らしています。それでも、婚姻という選択肢を得られず、さまざまな困難を抱えています。

2019年2月、札幌、東京、名古屋、大阪の4地域に13組の同性カップルが、国を相手方として、同性婚の法制化を求める訴訟を提起しました(その内、大阪は3組です)。また、福岡でも9月に1組の同性カップルが提訴しました。日本弁護士連合会や日本学術会議が同性婚の権利保障を提言している一方、G7で同性婚やそれに準じる制度がない国は日本だけです。

婚姻制度は、親密な関係の一形態ではありますが、法的保障の基盤になるものです。医療・福祉の現場でもそうですし、子育てをする同性カップルも増えていく中、教育現場での同性カップルの理解と権利保障も喫緊の課題です。

主催者からのメッセージ

裁判の状況を報告するとともに、「結婚の自由をすべての人」に保障するための行程を参加者の皆さんで共有したいと思います。

**E-2**

日時 2020年1月12日(日)
12:30～14:00

タイトル 実践共有：LGBTQの高齢者福祉の現場から

主催 新設Cチーム企画

出演者 梅田政宏、他

企画内容

LGBTQが高齢になった時、あるいはHIV陽性者が介護が必要になった時、どのようなサービスならば安心して受けられるのでしょうか。医療という限定的な関わりに比べ、介護・介助のサービスは、暮らしの中に深く関わるため、セクシュアリティを隠したままでは、自分らしく暮らすことも困難になるかもしれません。また、利用する地域のヘルパーがLGBTQについて知識がなければ、アウティングも心配です。

ゲイとしてカミングアウトしながらケアマネジャーとして釜ヶ崎という独特的の地域で働く梅田さんと、その仕事を連携して行うチームの皆さんにお越し頂き、実践の様子を伺います。

**主催者からのメッセージ**

介護職、医療関係者、ソーシャルワーカー、老後が気になるLGBTQ当事者の皆さんに是非ご参加いただきたい分科会です。職場でLGBTQの高齢者を対象にしたサービスを実践している方、情報や経験をシェアしに来てください！



E-3

日時 2020年1月12日(日)
12:30～14:00

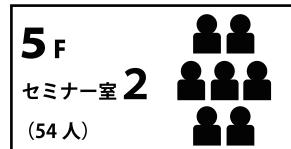
タイトル 障害×LGBTQ

主催 新設Cチーム企画

出演者 植木智、永田けい、山本美由美

企画内容

障害があること、セクマイであること、発生する困難や独特な状況は、今まであまり可視化されてこなかった。まずは、当事者がどのような人生を歩んだり暮らしをしているのか、知る機会としたい。また、主に日本国籍の健常者LGBTQが異性愛中心社会に対して性の多様性やインクルージョンを訴えている現在、LGBTQコミュニティ内でのダイバーシティにも敏感になっていく必要がある。LGBTQコミュニティをもっとインクルーシブにし、様々な立場が参加しやすい状態にしていくため、当事者内の多様性を提示する機会にしたい。インターフェクショナリティの只中を生きるパネラー同士の対話からも新たな視点を得られるだろう。

**E-4**

日時 2020年1月12日(日)
12:30～14:00

タイトル 医療・福祉関係者のLGBTQとアライ集まれ

主催 性的マイノリティ医療・福祉連絡会関西

出演者 臨床心理士／公認心理師 梨谷美帆（カウンセリング・ラボSORA）
臨床心理士／公認心理師 樋口亜瑞佐（愛知教育大）

企画内容

医療や福祉現場で対人援助に携わるセクシュアル・マイノリティの当事者やアライの支援者向けの企画です。

医療や福祉現場の支援者に対してセクシュアリティについての知識や多様なセクシュアリティを持つ被支援者に対して配慮についての必要性に対しての認識は高まっているものの、じゅうぶんとは言えないのが実情でしょう。

セクシュアリティ・フリーな現場とは？また、支援の現場から見える課題とは何か？そして、変化のための工夫とは？

失敗例や成功例、まだゼロ地点・マイナスの地点であるところ、それぞれの現場の「今」を出し合い、「これから」のためにできることをグループワークを通して考えてみましょう。フロアからの意見をもとに、明日からできること・わたしたちがより良い支援や現場を作っていくために必要な次の一步を明らかにしていきます。

**主催者からのメッセージ**

今まで存在が見えてこなかった障害者でありLGBTQである当事者の語りから交差するマイノリティ性を知りえます。病院や福祉サービスでの扱い、改善を望む点、工夫していることなど、複数の立場からの発表。医療福祉従事者やLGBTQ健常者、異性愛障害者の方ぜひどうぞ。

主催者からのメッセージ

支援者同士のネットワーク作りや情報交換、エンパワメントになる企画になればと思います。「性的マイノリティ医療・福祉連絡会関西」の活動も細々としたものになってしまっていますが、連絡会をご存じない新しい参加者の方々もぜひ気軽にご参加ください。

F-1

日時 2020年1月12日(日)
14:30～16:00

タイトル ろう LGBTQ のつながりとサポートづくり

主催 Deaf LGBTQ Center／ろう虹色塾

出演者 えつ(ろう虹色塾／代表)、エイト(Deaf LGBT TOHOKU／事務局)、トン(Tokyo Deaf LGBT【bond】／スタッフ)、野村恒平(Deaf LGBTQ Fukuoka／代表)、山本茉由美(Deaf LGBTQ Center／代表)

企画内容

5年前から立ち上がった、ろう LGBTQ 全国大会は毎年参加者を増やし文字通り全国で展開されている。また、アメリカ、カナダ、フィリピンなど国際的な交流を通じて、世界のろう LGBTQ とのつながりもしてきた。また、手話通訳派遣や正しい知識のための研修なども行っている。そうしたこれまでの様々な取り組みや成果、学びについて報告したい。その上で、まだまだ全国のろう LGBTQ の繋がりが十分とは言えない状況を変えていくために、更なるネットワークづくりについて考えていきたい。孤独を感じる人を減らすこと、多様性のある環境を聴者と共に作っていくこと、更には、ろう LGBGT のためのセーフティーネットのシステムなどについても、議論していきたい。

(音声通訳あり。聴者の方も参加可能です。)

**F-2**

日時 2020年1月12日(日)
14:30～16:00

タイトル LGBT と家族形成～生殖医療と子どもの未来～

主催 セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える
全国大会2020実行委員会

出演者 藤田圭以子(産婦人科医師)、津田育久子(津田助産院助産師)、
荒木晃子(内田クリニック心理カウンセラー/立命館大学客員研究員)

企画内容

誰でも自分が選んだ人と家族をつくる権利がある。
子育てをするという選択肢も、すべての人が持っている。

子どもが生まれるには、卵子・精子・子宮が必ず必要だが、それらをひとつでも持っていない場合、通常、生殖補助医療の力を借りたり、里親制度といった選択肢がある。しかし、異性愛者の間でさえもそれらの利用には経済的・社会的なハードルがあるなかで、LGBTQに関してはその存在すらもほとんど想定されていないのが現状である。また、「子どもの出自を知る権利」など、生まれてきた子どもの福祉を守るために議論も不十分な状態とも言え、早期の法整備が求められる。異性愛も LGBTQ も関係なく、生殖補助医療や里親制度を利用できる環境、そして、生まれてきた子ども達を社会全体で守っていく体制を整えるべきである。

様々な形で家族を持つ当事者たちを紹介し、助産師、不妊治療専門心理士、産科医それぞれの立場から、医療現場の現状の報告と課題、それを受けた対話を予定。この分科会をきっかけに、当事者からの声が高まり、法整備につながることを願う。

**主催者からのメッセージ**

2年先まで「ろう× LGBTQ の全国大会」の開催地は決定している(!)という積極的な運動参加とコミュニティビルディングはどのようにして可能なのか。5年間で劇的に広がったネットワークとパワフルな活動はどのような展開だったのか。全国各地で活動をする当事者が結集しこれまでを振り返り今後を展望する。ろう者はもちろん、聴者にも参加してほしい分科会。

主催者からのメッセージ

医療従事者と子育てを検討する当事者がともに家族づくりについて考える、貴重な機会となりますように。皆様のご参加お待ちしております。



F-3

日時 2020年1月12日(日)
14:30～16:00

タイトル トランスジェンダーとセックスワーク

主催 宮田りい

出演者 宮田りい

企画内容

私はこれまで、トランスジェンダーおよびセックスワーカーの健康や安全の問題に关心を持ってきました。今回は、トランスジェンダー・セックスワーカーに焦点を当て、出生時に割り当てられた性別による差異や直面しやすい課題について、フィールドワークやインタビュー調査の結果等をもとお話しします。

**主催者からのメッセージ**

トランスジェンダー・セックスワーカーについてお話ししたり、会場のみなさんと交えて意見交換できればと考えています。どうぞお気軽にご参加くださいませ。

5F
セミナー室2
(54人)

F-4

日時 2020年1月12日(日)
14:30～16:00

タイトル アディクション×LGBTQ

主催 メンヘル！

出演者 「メンヘル！」メンバー

企画内容

「LGBTなど多様な性を生きる人々」でかつ「アディクション（依存症）を持っている人々」のための、「言いっぱなし聞きっぱなし」のミーティングを開きます。（今回の分科会では上記の条件に合わない方も、オブザーバー（傍聴者）としての参加できます。）
「言いっぱなし聞きっぱなし」のミーティング：日常会話とは異なり、参加者がそれぞれに自分の話をして、他の参加者はただただ聞くだけでコメント等をしません。
ルールは次の3つ。

1. 「言いっぱなし聞きっぱなし」であること。他の参加者の話に触れない。「いまの話に感動しました。」「わたしも（前の話者と同様に）猫を飼っているのですが、～～」などがNG。
2. 守秘。ミーティングで語られたことや、参加者について、ミーティング外で話さないでください。家に帰って話したり、SNSにUPしたりしないでください。
3. 分かち合い。時間の分かち合いにご協力ください。

「メンヘル！」

LGBTなど多様な性を生きる人々で、メンタル面に悩みにがある方のためのグループ。
「言いっぱなし聞きっぱなし」のミーティングやSSTや当事者研究をやっています。

日時：毎週土曜日 11:30～12:30 場所：QWRC 参加費：300円

4F
中会議室3
(36人)

主催者からのメッセージ

アディクションの自助グループ等で使われている「言いっぱなし聞きっぱなし」のミーティングを実施いたします。ミーティングでは、自分のしんどさや困難を話しても、アドバイスを受けることはありません。それゆえに、物足りなさや、不安を感じる方もおられます。そして、多くのグループでは、数回参加してみることが提案されています。まずは、この分科会で1度体験してみてください。

パネル発表

パネルは公募いたしました。「パネル発表1～4」の他にも展示しております。

■パネル発表1

タイトル	新設Cチーム企画の報告いろいろ
主催	新設Cチーム企画
企画内容	
当会は2007年から大阪を拠点として、LGBTQを支援する動画や教材を作り、地域の当事者や教育機関に発信しています。ワークショップの開発実践、講演・研修会の主催、行政への講師派遣、派遣講師の育成、ろうLGBTQへの支援、海外資料の翻訳にも取り組んでいます。 今回は性の多様性の授業実施状況について教育委員会に問い合わせたり、独自のアンケート調査などを行いましたので、その結果を報告するとともに、これまでの活動についても報告させて頂きます。	
主催者からのメッセージ	
「性の多様性についての授業をしたいがやり方がわからない」「取り組む重要性について上司を説得できない」などなど、やる気はあるけど様々な事情で一步を踏み出せない先生方が使いやすい教材紹介や説得力のあるデータ提供を目指します。	

■パネル発表2

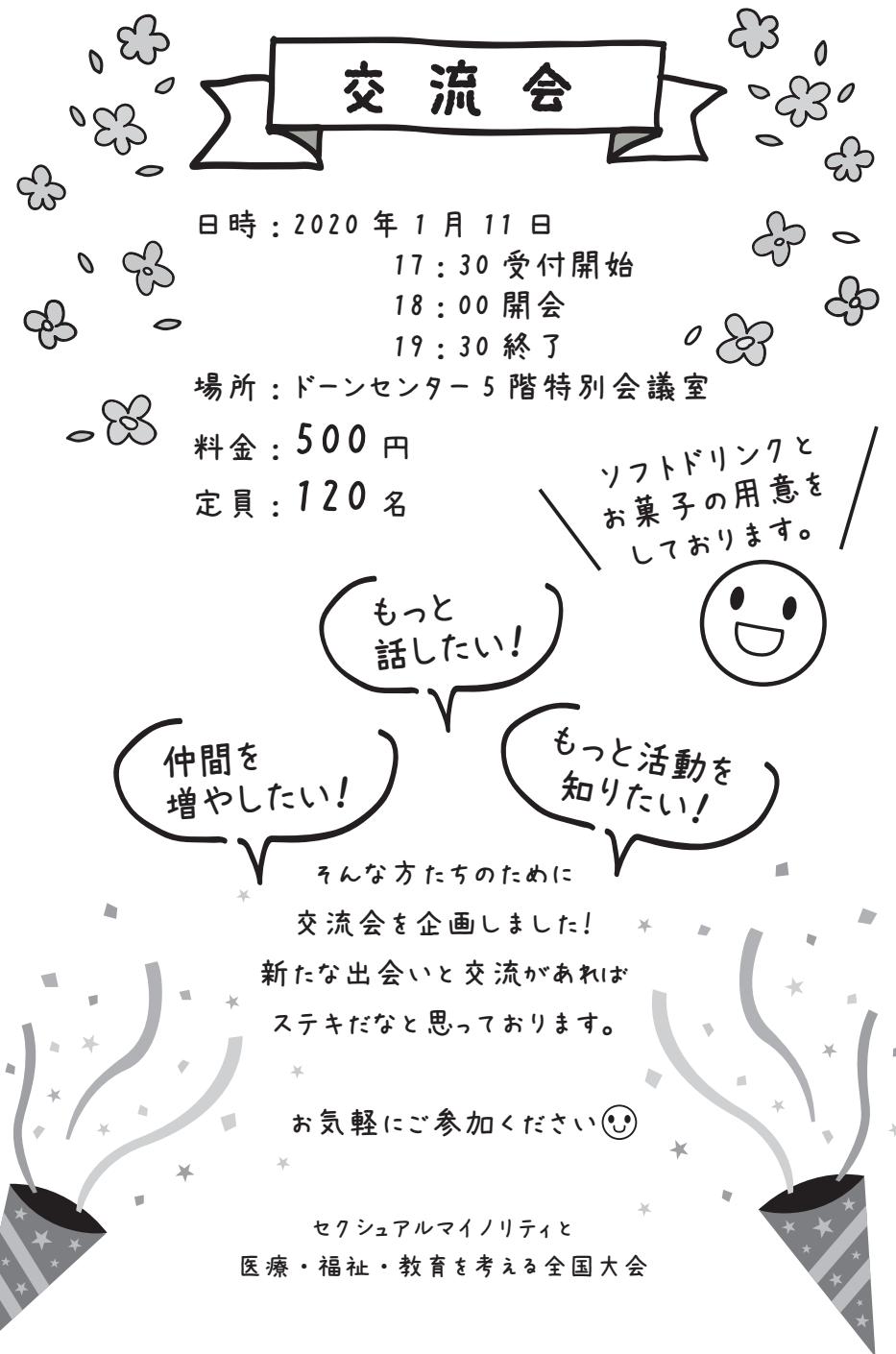
タイトル	LGBTQも働きやすい職場環境とは
主催	特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ
企画内容	
虹色ダイバーシティでは、2014年から国際基督教大学ジェンダー研究センターと「LGBTと職場環境に関するアンケート調査」を共同で実施し、これまで可視化されてこなかった、職場での差別・貧困・メンタルヘルスの不調など、LGBTをとりまく困難を明らかにしてきました。今回のパネル展示では、同調査の2019年度版速報を公開します！LGBTも含めた誰もが働きやすい職場づくりのために、今できることはなにか、みなさんと一緒に考えを深める場にしたいと思います。	
主催者からのメッセージ	
虹色ダイバーシティでは、LGBT等の性的マイノリティも働きやすい職場、生きやすい社会を作ることを目標に活動しています。医療・福祉・教育など、多種多様な分野の方との出会いを楽しみしております！	

■パネル発表3

タイトル	大阪市における無作為抽出調査からみたセクシュアル・マイノリティのメンタルヘルス
主催	「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（代表・釜野さおり）
企画内容	
2019年1～2月に実施した「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」の分析から、セクシュアル・マイノリティのメンタルヘルスにかんする結果を提示します。この調査は対象者を無作為抽出して行なったことから、セクシュアル・マイノリティ「当事者」と「非当事者」の違いを統計的に検定できることが特徴です。（なお、本調査はJSPS科研費「性的指向と性自認の人口学—日本における研究基盤の構築」の助成を受けて実施しました。）	
主催者からのメッセージ	
セクシュアル・マイノリティの生活実態を明らかにするには、様々な研究アプローチが必要だと考えます。その一つとして、私たちの研究チームでは、一般向けの社会調査で性的指向と性自認のあり方をたずねることに挑戦しています。	

■パネル発表4

タイトル	トランスジェンダーの職場環境、トイレ利用に関する意識と実態
主催	オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会（金沢大学、コマニー、LIXIL）
企画内容	
性自認を問わず誰もが安心して利用できるオフィストイレのあり方について、トランスジェンダー／シスジェンダー両方に対して行った調査結果から考えます。就労状況やトイレ利用の実態と希望、男女共用トイレのニーズ、シスジェンダーからみたトランスジェンダーへの意識について分析結果を紹介し、トランスジェンダーの多様なニーズを踏まえた、ハード・ソフト両面からの環境整備が重要であることを示します。	
主催者からのメッセージ	
トランスジェンダーが安心して就労できるためには、自身の希望するトイレを安心して使える環境が大切です。性自認を問わず誰もが利用しやすいオフィストイレのあり方について、トランス／シス両方に対して行なった調査結果を元に考えます。	



梅田の総合かかりつけ医
総合診療クリニック 太融寺町谷口医院
<https://t-internationalclinic.jp/>
無料メール相談を随時受け付けています。



NPO 法人 SEAN(シーン)
-Self-Empowerment Action Network-

* 1997年からの豊富な実績あり
* 「ジェンダーと人権」に関する出前授業の提供
* 多様なテーマの講師陣
まずは HP 等でご確認ください!!
HP: <http://www.npo-sean.org>
〒569-0071 大阪府高槻市城北町 1-1-14
太田第二ビル 3F Tel/Fax: 072-669-7411
Mail: station@npo-sean.org

きょうとイロ

主な活動内容

♪交流会「イロ会」

当事者の方はもちろん、そのパートナー、家族、友人、職場関係者、支援者の方等にも参加していただきやすい会になっています。

♪個別相談

ホームページ: <http://kyoucolor.racms.jp>

メール: kyoutoiro520@yahoo.co.jp

Twitter、Facebook もご覧ください

LGBTQ で、精神疾患・発達障害、依存症
そのほかの様々な心の悩みを持つ人たちが
ピアサポートするグループです。

当事者同士のミーティングや LGBTQ の
メンタルヘルスに関する各所への働きかけ
などを行います。



カラフルなはーと

Web: <https://lgbtcath.com>
Facebook: <https://www.facebook.com/LGBTCatH>
Twitter: <https://twitter.com/LGBTCatH>
Mail: lgbtcolourfulheart@gmail.com

ねね助産院

助産師 芦田千恵美

営業時間 月曜~日曜 (10時~18時)

ただし、入院・出産は随時

連絡先
06-6772-9230
nenejosanin@yahoo.co.jp
543-0044
大阪市天王寺区国分町 8-19



ポックリ活きたい人、はいっ!
自分の役割を見つけてみませんか?

Barbamaaya

#Barbamaaya #しつもんばこ
#里山生活健康工場LABO.
#岡山美作 #大阪寝屋川

E-mail morino.nurse@gmail.com
担当: 丸山

「セクシュアルマイノリティと
医療・福祉・教育を考える
全国大会 2020」の開催を
お慶び申し上げます。



rainbow.kobe@gmail.com
 [@hito_iroiro](https://twitter.com/hito_iroiro)

セクシュアリティを問わないお茶会を
月に1回程度開催しております。

NPO 法人 QWRC
<http://qwrc.org>



新設Cチーム企画



いろんな人が居て
当たり前な空間は
なんだかみんな
気持ちいい。

- 教材制作
- 講師派遣
- 研修
- 動画製作
- 翻訳
- 字幕付け
- Web 管理
- デザイン
- 緩い相談

お蔭様で 9000 枚突破☆

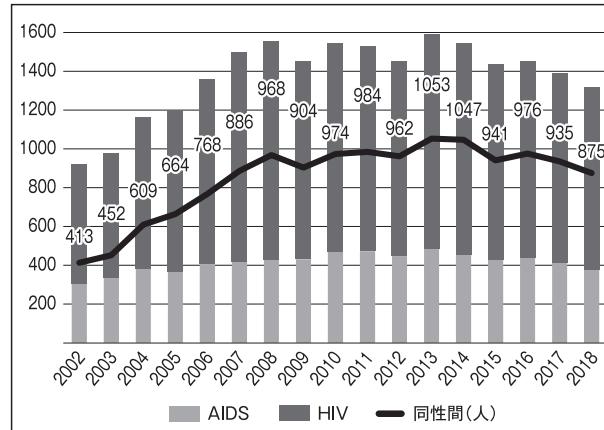
中高の英語の授業にも使える！



特定非営利活動法人 <http://kii.coron.jp/>
キム紀伊水道 Team Kirsuidoh

HIV感染症は今でも重要な健康課題！

- 国内で新たにHIV/エイズと判明した人の多くは、男性同性間の性行為で感染しています。
- 研究によると、HIV感染している人のうち、報告されているのは7~8割で、2~3割は自分の感染に気づかないままです。
- HIVはコンドームで予防できます。HIV陽性者は、抗HIV薬の服用により血液中からウイルスが見つからない状況になり、その状態ではコンドームのない性行為でも感染しなくなります。



<https://ptkyo.org>

HIV陽性者とそのパートナーと家族、HIV/エイズに関わる人たちを応援するNPOです。
陽性者や周囲の人たちの声も発信しています。

<https://ptkyo.org>
<https://ptkyo.org>
<https://ptkyo.org>

特定非営利活動法人
ぶれいす東京
TOKYO

参加型のアクティビティで脱学習し、特權に気づき、社会変革に向けての行動力を！

大阪多様性教育ネットワーク

Osaka Diversity Education Network (ODEN)

◆一人ひとりのさまざまな面を自分自身が肯定的にとらえ、おたがいのさまざまな面を尊重しながら、差別や人権侵害について自分に引き付けて考えようとする人権(多様性教育)学習プログラムを提供しています。

◆多様性教育学習プログラムは行動力を育むことを大きな目的としているため、社会変革のために自分ができることや協働を考え行動に結びつけるところまでを、構成原理に基づいて組み立てたアクティビティで学びます。

◆年に10回程度の「ODEN オープン学習会」と、春・夏・冬3回の「多様性教育ガイドセミナー」を開催しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <http://www.oden.in/>

次回の**多様性教育ガイドセミナー**のご案内

『多様性教育学習ガイドブック』(430 頁)を使う資格を得るためのセミナーです。このガイドは、市販されておらず、このセミナーを通じてのみお渡しすることができます。この学習ガイドにより、担当している学級をはじめ勤務校やさまざまな職場で、多様性教育を広げる手がかりが得られることになります。

日時 2020年3月20日(金)21日(土)

10:00~17:00

会場 大阪市立大淀コミュニティセンター

対象 教職員、教員をめざしている人、子どもにかかわる人

定員 20人

参加費 一般 12,600 円 学生 10,600 円
再参加 5,000 円

特定非営利活動法人

パープル・ハンズ

性的マイノリティの《暮らし・お金・老後》に応える



医療、介護、福祉
情報のかたへの
研修あります

性的マイノリティの
老後を考え、つながるNPO
カフェやイベントで、仲間とつながろう

老後と同性パートナーシップの
たしかな《情報センター》
団話や個人的体験ではなく、専門家の情報を参考しよう

性的マイノリティに対応する
ライフサポートネット
公正証書の作成、さらに終活、死後事務受任、後見も



“生きづらさ”の半分は、
制度リテラシーの不足に
によるかもしれません。
法律や制度を学ぶ講座や
対面ライフプラン相談に
応じています。
また、お茶会など集いも
定期開催しています。



164-0003
中野区東中野 1-57-2
柴沼ビル 41号
電話 03-6279-3094
HP やツイッターは検索を

あなたの街のHIVサポートセンター

相談
Consultation

検査
Inspection

支援
support

啓発
Enlightenment

community center
chotCAST

大阪市中央区東心斎橋 1-7-30
21心斎橋ビル4階
web:www.chotcast.com
mail:info@chotcast.com



心も建物も
バリアフリー
浄土真宗
乗蓮寺

〒577-0809 東大阪市永和 2-6-4
電話 06-6721-1858
URL <http://joe-renji.jp/>



AGP こころの相談

050-5539-0246

毎週火曜 20 時～22 時

AGP は、医療・カウンセリング・福祉・教育などの分野でレズビアン & ゲイコミュニティーに貢献しようとするグループです。

AGP こころの相談は、無料電話相談で、同性愛者の悩みや心の問題について対応します。精神科医師、公認心理師、臨床心理士が担当しています。

おことわり

シフトを組んで電話相談に当たっておりますが、相談員は本業で臨床の現場で働いているため、急患や予想外の仕事の発生により、急に電話相談ができなくなることがあります。

あらかじめご了承下さい。

明日。
現実な

NPO法人アカーは、レズビアン&ゲイ・HIV+のためのサポートグループです。
たくさんのボランティア&サポーターの協力により運営されています。

〒164-0012 東京都中野区本町6-12-11 石川ビル2階

TEL:03-3383-5556 FAX:03-3229-7880 URL:www.occur.or.jp

occur
NPO法人アカー

好評
販売中!

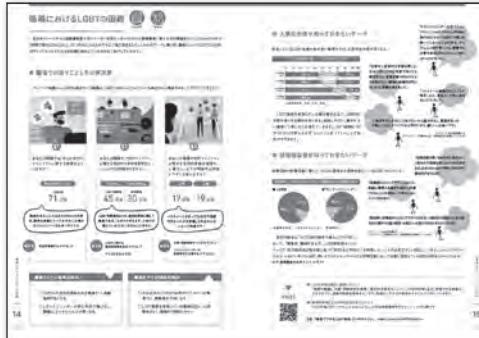
A4 サイズ
全 32 ページ
600円(税込)

虹色ダイバーシティの冊子

「職場におけるLGBT・SOGI入門」



「LGBT」と「SOGI」の視点から職場環境改善について学ぶことを目的に作成いたしました。だれもが知っておきたい「基礎知識(全従業員向け)」をお伝えするとともに、「企業施策(経営層/人事担当者向け)」「現場対応(管理職向け)」に分けて情報を提供しています。具体的な企業事例も掲載。職場でお手元に置いていただくことに適した内容となっております。



■もくじ	■掲載資料
02 はじめに	・ヒアリングシート
04 LGBT	・名札とグランドルール
06 SOGI、アライ	・レインボーポップ
08 LGBTの社会的困難	
10 カミングアウトとアディング	
12 世界と日本の社会的状況	
14 職場におけるLGBTの困難	
16 LGBTQに関する差別的言動	
18 制度の整備	
20 支援、相談体制をつくる	
22 トランスジェンダーの性別移行	
24 企業事例 1	
26 企業事例 2	
28 職場内グループの運営	
29 まとめ	
30 LGBT年表	
31 用語集	

全国書店で
販売中!

「トランスジェンダーと職場環境 ハンドブック」

～誰もが働きやすい職場づくり～

全 240ページ
2,200円(税込)

■共著
東優子
特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ
特定非営利活動法人ReBit

■出版社:
日本能率協会マネジメントセンター



虹色ダイバーシティ
通信販売ページは
こちら!

上記の職場の研修に使用できる冊子や、
すぐに使える虹色のグッズなど、ホームページで通信販売しています。オリジナル
グッズの制作も請け負っていますので、
お気軽に問い合わせください。



NIJIIRO DIVERSITY
特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

<http://nijiroidiversity.jp/>



@nijidiversity nijiroidiversity

講演・取材のご依頼・ご寄付などに関するお問い合わせは、ウェブサイトのお問い合わせフォームからお願いします。

津田助産院(分娩取り扱い施設)

津田育久子 (Ikuko Tsuda) · 助産師

〒596-0041



大阪府岸和田市下野町 2-2-1

090-1591-9815

cn311015@mcn.ac.jp

- 助産院での出産・自宅出産・妊婦健診
- 産後ケア(日帰り)・育児相談・乳房ケア・産後ケア
- 思春期セミナー、LGBTQ支援活動
- 来年、岸和田市にLGBTカフェを作る予定です。
- ラジオ番組『あなたのそばにいつも助産師がいます』
ラヂオ岸和田・毎週金曜日 17:30~18:00 出演中
是非、聴いて下さい。

ラヂオきしわだ FM.7

理念

出産に寄り添い、その人がありのままでいられるよ
うに助産師として、いつもそばにいます。